

「トントン相撲と子どもたち」	1学期の保育の視点②より
— 自分のやりたい遊びにじっくり取り組み満足感を味わう —	

今、子どもたちの中では、木工室で作った虫や乗り物（これを『力士』と呼んでいる子どもたちがいますので、以後『力士』と呼びます）を使って遊ぶトントン相撲が好きになっています。伝承遊びとしてのトントン相撲は紙で作ったお相撲さんを土俵に置いて勝負をしますが、かえで幼稚園では長い間、木工で作った『力士』を段ボール箱の上に置き勝負をしています。

Aちゃんもトントン相撲が好きな一人で、6月にも毎日繰り返しトントン相撲を楽しんでいました。ある朝Aちゃんは、登園し身支度を整えると『力士』が20個ほどが入っている紙袋を棚の上から取りました。そして『力士』をじゅうたんの上に広げます。一つひとつを手に取り、壊れていないか確かめていました。私がAちゃんに「Aちゃんのお気に入りは何れ？」と聞くと、迷いながら「これかなーこれは重くて力が強いんだよ」と得意げに話すAちゃん。私は「そうなのね、やっぱり作るのにも時間がかかるでしょう」と尋ねると、「そうなんだよ！時々、釘を打つと木が割れちゃう時があつてさ、何度も何度もやり直さないといけない時があるんだよ」とAちゃん。するとそこへ、支度を終えたBちゃんもAちゃんと同じように『力士』が入った紙袋持ってやってきました。「よし！Aちゃん、今日も勝負しよう」とBちゃんが言うと、「今日は絶対勝つぞ！」と言うAちゃん。それぞれお気に入りの『力士』をダンボール箱の上へ置き、「はっけよーい、のこった」の合図でダンボール箱を叩き始めました。しばらく接戦が続きますが、やがてAちゃんの『力士』が落ちてしまいました。「やったー勝ったー！」とガッツポーズをするBちゃん。するとAちゃんは立ち上がり、「ちょっとぼく、これから木工室に行ってもう一度釘を打ち直して丈夫にしてくる」と言います。すると、それを聞いたBちゃんは、「分かった。じゃあここで待ってるよ」と言いました。

それから少しした後、汗を拭きながら、Aちゃんが戻ってきました。「木工室は暑かったけど出来たー」と言うAちゃんの手には紫色で塗られた『力士』がありました。「よし今度こそ負けないぞ！」とAちゃん。そして、「はっけよーい、のこった」の掛け声でトントン相撲は再開されました。

トントン相撲が好きになった子どもたちには何度も何度も木工室へ足を運び、満足するまで遊びに取り組む姿があります。トントン相撲には、『力士』を作りためる喜びと勝負する楽しさの両方の魅力があると思います。年長組になり、保育室から木工室までが近くなり、壊れた時にはすぐに直しに行くことが出来ます。「ちょっと行ってくる」とすぐに行ける距離にあることも、トントン相撲の『力士』が増えていく一つにあるのかもしれません。



年長組NEWS ～ 初夏の子どもの姿から ～

—ジャガイモ掘り—

3月に植えたジャガイモが畑の土の中で育ちました。6月末のある午後、そのお芋を子どもたちと掘りました。「こんな大きなジャガイモが掘れたよ」「これは赤ちゃんのジャガイモだね」と汗をかきながら嬉しそうに掘る子どもたち。大小様々なジャガイモが掘れ、たくさんの実りに感謝しました。

—コイノニア教育センターのことを覚えて—

この6月から年長組の子どもたちの『もう一人の友だち』として与えられたシェリフちゃんは、ケニアのコイノニア教育センターに通う男の子です。(詳細は47ページをお読みください) 6月23日に、4・5・6月生まれの子どもたちとシェリフちゃんを覚えての献金を送金するために郵便局へ行きました。出発前、「シェリフちゃんが元気に幼稚園へ通うことが出来ますように」とお祈りしました。今後、誕生月の子どもたちが順にシェリフちゃんのことを祈って郵便局へ行く体験をしていきます。引き続き、子どもたちとコイノニアのことをお祈りしていきたいと思います。

—礼拝—

週の始め（主に月曜の朝）にはホールへ集まり、礼拝を守っています。6月以降、礼拝の中では、旧約聖書に書かれているヨセフ物語（創世記 37 章～50 章）を 4 回に分けて聴いています。子どもたちがこれだけの長い物語を聞くのは初めてです。神さまの大きなご計画の中でヨセフが守られ、やがて人々を救う物語に子どもたちは真剣に耳を傾けます。私たちもいつも神さまの大きなお守りの中で歩んでいることを忘れずに感謝する生活を大切にしていきたいと思えます。

—ゴム跳び—

ゴム跳びが楽しくなっています。ゴムひもを 2 脚のイスの両脚に掛け、「ゲー、パー、ゲーゲー、パー」のリズムに合わせて跳ぶ子どもたち。最初は、思うように跳べなくても「もう一回やる」と言って汗びっしょりになりながら繰り返し楽しんでいきます。子どもたちの好きな遊びのひとつになりそうです。

（安東 直緒）